

京都ボランティア協会2021年度事業計画

目次:

…ページ

<事業>

1 【ボランティアコーディネート事業】	2 …ページ
2 【援助及び交流事業】	2 …ページ
3 【広報事業】	3 …ページ
4 【研修事業】	4 …ページ
5 【研究事業】	4 …ページ
6 【地域福祉推進事業】	4 …ページ
7 【評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】	5 …ページ
8 【企業・労働組合の社会貢献活動の推進事業】	5 …ページ

<組織・運営>

1 【組織・運営体制整備】	6 …ページ
---------------	--------

<事業>

【1. ボランティアコーディネート事業】

事業項目	事業目的	事業内容
<p>ボランティアコーディネートの実施</p> <p>在宅でのボランティア活動グループ活動(協会内外)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の啓発と推進。 ・地域で困難を抱える人たちとのボランティア活動を通じての交流、ひいては社会貢献。 ・ボランティア登録者継続と増加の推進。特に在宅生活者の依頼に対応。 ・相談業務等から見える生活・福祉ニーズの把握と分析。 ・地域資源の把握(新たなボランティア活動先、受入先の開拓など)。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティア相談(ボランティア活動希望者およびボランティア依頼者からの相談)を行う。 ②ボランティア学習会・研修会等を実施する。 ③ボランティア登録者の増員と交流を図る。 ④ボランティアコーディネート事業体制を整備する。 ⑤福祉ボランティアセンターとの連携を図る。 ⑥「きょうボラ」を発行(年4回前後)する。 ⑦大学・地域等への事業紹介等広報活動を実施する。

【2. 援助及び交流事業】

事業項目	事業目的	事業内容
<p>「第12回きょうボラふれあい祭」開催予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアスタッフの人材発掘と育成。 ・ボランティア、関係団体、企業等との交流、連携推進。 ・新たな活動の創造・発信。 ・ボランティア中心に、ふれあい祭準備段階から企画・運営を参加団体と実行委員会・事務局が連携強化。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ボランティアスタッフ等の募集と学習会を行う。(随時募集) ②実行委員会(企画・運営)を設置する。 ③ふれあい祭のホームページを管理する。(実行委員会) ④バザー物品、抽選物品を確保する。 ⑤広報の充実(パンフレット・ちらし他)を図る。 ⑥ふれあい祭記録・報告書を作成する。 ⑦福祉ボランティアフェスタ開催時には1参加団体として参加する。

ボランティアビューロー活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な関心を持つ人たちとの交流(サークル・グループ)を通じた仲間づくり。 ・多様なメニュー企画立案作りによる人材及び団体交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単発活動企画の年間計画化を図る。 ②居場所機能の活性化(メンバー募集、仲間作り等)を図る。 ③活動のグループ化、自主運営化を図る。 ④新規グループ作りを図る。
高齢者と社会的に不安を抱く若者グループの居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽に出来るボランティア、だれでも出来るエコ・リサイクル活動 ・地域住民への社会貢献活動の啓発や就労支援の活動(障がい者とともに)。 ・大徳寺分室等での今後の活動事業はもとより、メンバーの得意分野を生かした作業に取り組める居場所づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ①古着、使用済タオル及び使用済切手等のリサイクル(ウエス作業、バザー等)の推進を図る。 ②・メンバーの得意分野を生かした作業に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者等が気軽に来ることができるサロン(例:認知症予防ゲーム、歌声広場等)で認知症やひきこもりなどの予防を図る。

【3. 広報事業】

事業項目	事業目的	事業内容
「ボラタス」他広報事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボラタス」「きょうボラ」他媒体による情報提供と発信。 ・ホームページにて情報の公表を行うことによる、広く市民への広報活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「ボラタス」を発行(年4回前後)する。 ②「きょうボラ」を発行(年4回前後)する。 ③ホームページを管理する。 ④講座等のちらしの配布等を行う。 ⑤「京・福祉の研修情報ネット事業」を通じての広報活動を行う。 ⑥京都市市民活動総合センターを通じての広報活動を行う。

【4. 研修事業】

事業項目	事業目的	事業内容
高齢・障がい・医療分野等の講座実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域で求められるボランティア像を知り、実践や体験活動を取り入れ、人材発掘の機会を増加。 ・各領域の課題を学び、ボランティアグループ、NPO団体等との連携の推進。 ・「心の栄養支援講座」の継続開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動にあたっての知識・技術等を身につける講座・研修を開催する。 ②各領域の現場で当面している課題を現場から学ぶ。 ③ボランティア研鑽とボランティア同士の交流、特に福祉領域のボランティア活動者の数居を低くし、互いに支えあう活動を増やす。 ④地域生活で求められているボランティアを知る機会をつくる。 ⑤在宅生活を豊かにすることを手伝えるボランティアを知り、実践や体験活動を取り入れた内容の講座づくりをする。
ワタキューグループ新入社員研修(5/12~6/11)2グループ 78人 ボランティア講座の企画・講師派遣等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランタリー精神を学び、座学や体験活動を通じての「人間力」育成。 ・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動の意義を知り、現場の職員や当事者と交流する機会を持つ。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ③ボランティア活動や講座の情報提供を発信する。
その他必要な講座の実施及び講師紹介・派遣の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会が目的とする住民福祉増進の一環として、各領域で求められる研修等の講師の紹介・派遣。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域等への研修等の講師紹介・派遣を行う。

【5. 研究事業】

事業項目	事業目的	事業内容
ボランティア活動に関する調査研究	京都市内におけるボランティア活動状況の実態把握および「京都ボランティア白書(仮)」の発行。	<ul style="list-style-type: none"> ①「京都ボランティア白書(仮)」の発行に向けて調査・編集委員会を開催する。 ②「京都ボランティア白書(仮)」を発行する。

【6. 地域福祉推進事業】

事業項目	事業目的	事業内容
災害支援活動	人的支援・物的支援等の後方支援。	<ul style="list-style-type: none"> ①募金活動を行う。 ②イベント開催時に募金箱を設置する。

【7. 評価・調査事業を通じ社会福祉を推進する事業】

事業項目	事業目的	事業内容
地域密着型サービス外部評価事業の充実	・質の高い評価。	①地域密着型サービス外部評価事業を行う。 ②評価調査者の拡充・研修体制の充実を図る。 ③主任評価調査者を養成する。
介護サービス第三者評価事業の充実	・質の高い評価。	①介護サービス第三者評価事業を行う。 ②評価調査者の拡充・研修体制の充実を図る。 ③主任評価調査者を養成する。
福祉サービス第三者評価事業の充実	・質の高い評価。	①福祉サービス第三者評価事業を行う。 ②評価調査者の拡充・研修体制の充実を図る。 ③主任評価調査者を養成する。
公開講座の実施	・介護・福祉サービスに関する情報を地域へ推進。	①介護・福祉サービスに関する情報を提供するための公開講座を開催する。
評価・調査事業の管理・運営体制の整備	・効率的な事務運営。	①評価・調査機関としての事務体制を整備する。

【8. 企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

事業項目	事業目的	事業内容
企業・労働組合との協働と交流	・企業等の社会貢献活動の啓発や推進。	①協会事業(ふれあい祭等)への参加および企画等への参画を図る。 ②社会貢献のあり方・意義を学ぶ機会を提供(ボランティア活動紹介や、講師派遣等)する。 ③ボランティア活動や講座の情報を提供する。

<組織・運営>

【1. 組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業内容
組織基盤の強化	・会員拡大、確保に取組み組織基盤の強化。	①「当面の強化方策に関する検討会(仮)」を継続開催し、検討する。 ②イベント等参加団体・者への会員案内・勧誘を行う。 ③各新聞社・関係団体の広報媒体を活用する。 ④理事、会員との交流の機会を設ける。
運営体制の整備	・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築き、運営体制の整備。	①一般社団法人としての公益事業の活性化を図る。 ②事務局体制の整備(人員の補強)を図る。事務局ボランティアスタッフの拡充を図る。 ③評価・調査機関としての管理・運営体制を整備する。
ボランティアビューロー・3階の福祉ボランティアセンターの一部の管理・運営	・有効な管理運営及び友好的で開放的な場の構築。	①利用状況を把握・管理する。 ②ボランティアビューロー活性化事業を促進する。 ③広報物を掲示・整理する。
	・財源確保による安定的事業運営。	①会員拡大を図る。 ②助成金を確保する。 ③寄付収入の維持・拡大を図る。